

実施報告

猿払村立鬼志別小学校

*学級数 9 *児童数 88

| 支援員勤務学校名 | 職名 | 氏名 | 専門分野 |
|------------|----|------|------|
| 北海道浜頓別高等学校 | 教諭 | 西島博樹 | 生物 |

【本事業のねらい】

小学校第6学年「電気の利用」の単元において、「電気は、つくり出したり蓄えたりできること」「電気の性質や働きを利用した道具があること」等を観察・実験などの具体的な体験を通して理解を図るための、教員の指導力向上を目的に実施した。

【実施内容】

2月14日 15:00~16:30、鬼志別小学校理科室において、13名の教員を対象に、小学校第6学年「電気の利用」の単元目標と学習内容、指導上の留意事項、系統性を確認した後、「手回し発電機」や「クリップモーター」などの実験を行った。その後、「スピーカー作成」に関わる教材の紹介があり、参加者全員でスピーカーづくりを行った。



【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・6年生では、本単元を学習中だったため、「手回し発電機を2つつないで回すとどうなるか」「みんなで協力して白熱灯をつけよう」など、すぐに活用できる研修内容でした。回すときの手応えが変わることは、電気を水に例えて説明すると分かりやすいことなどを教えていただき、大変勉強になりました。クリップモーターづくりには苦戦しましたが、スピーカーづくりは手軽にできるので、子どもたちと一緒にやってみたいと思いました。
- ・クリップモーターを子どもたちに作らせる際に、「作り方」の説明は教科書などを参考に指導はできるのですが、「こうやるとうまくいく」というちょっとしたコツを教えることは難しいです。今回の研修では、そのようなポイントがたくさんあり、分かりやすく、楽しく実験をすることができました。大人が楽しかったので、子どもはもっと楽しんでできると思います。とても勉強になりました。

【来年度以降の実施に向けて】

担任教師が望む単元内容を中心に研修希望を出すのが、可能な限り実際の授業に入る前に研修を実施できるよう日程調整をしたい。